

2024年度 同志社大学大学院 司法研究科

前期日程入学試験問題 法律科目試験

(刑事訴訟法)

第1問 (配点: 30点)

次の(設例)を読んで、問に答えなさい。

(設例)

警察官Kは、かねてより甲が覚醒剤密売人であるとの確度の高い情報が得られていたことから、その覚醒剤隠匿の場所を探るべく、甲を尾行するなどの捜査を行ったが判明しなかった。そこで、Kは、民間事業者のGPS(全地球測位システム)位置情報通知サービスの利用者となりGPS端末を借り受けた上で、これを用いて甲使用の自動車(甲車)のGPS位置情報を得て、甲の行動把握を行うこととした。

Kは、令和4年10月11日午後1時頃、公道(X地点)に駐車された甲車の底部に、密かに上記GPS端末を取り付けた。その頃、甲は、X地点から甲車の運転席に乗り込み甲車を発進させた。Kは、直ちに覆面パトカーで追尾するも見失った。甲は、発進後、公道を約30分間走行した上で、X地点から約10キロメートル離れたY駐車場に甲車を停車させた。Y駐車場は屋根のない駐車場であり駐車場内部が公道から見えた。甲は、降車したところ、甲車に取り付けられた上記GPS端末に気づき、これを取り外した。

Kは、甲車について、X地点からY駐車場までの間の公道における位置情報しか得られなかったものの、これを捜査報告書に取りまとめた。上記の捜査について、Kは、甲の承諾も格別の令状も得ていなかった。

問

(設例)におけるKの捜査の適法性について論じなさい。その際、強制処分の定義及び関係する条文について言及すること。

第2問 (配点: 20点)

我が国の判例が採用する違法収集証拠排除法則について論じなさい。